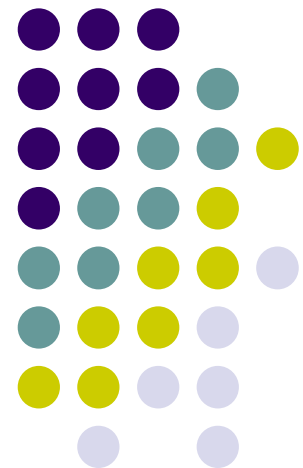


(仮)岸和田 Green Village 構想

平成25年12月2日

岸和田市丘陵地区整備機構準備会 提出資料



岸和田 green village 構想とは



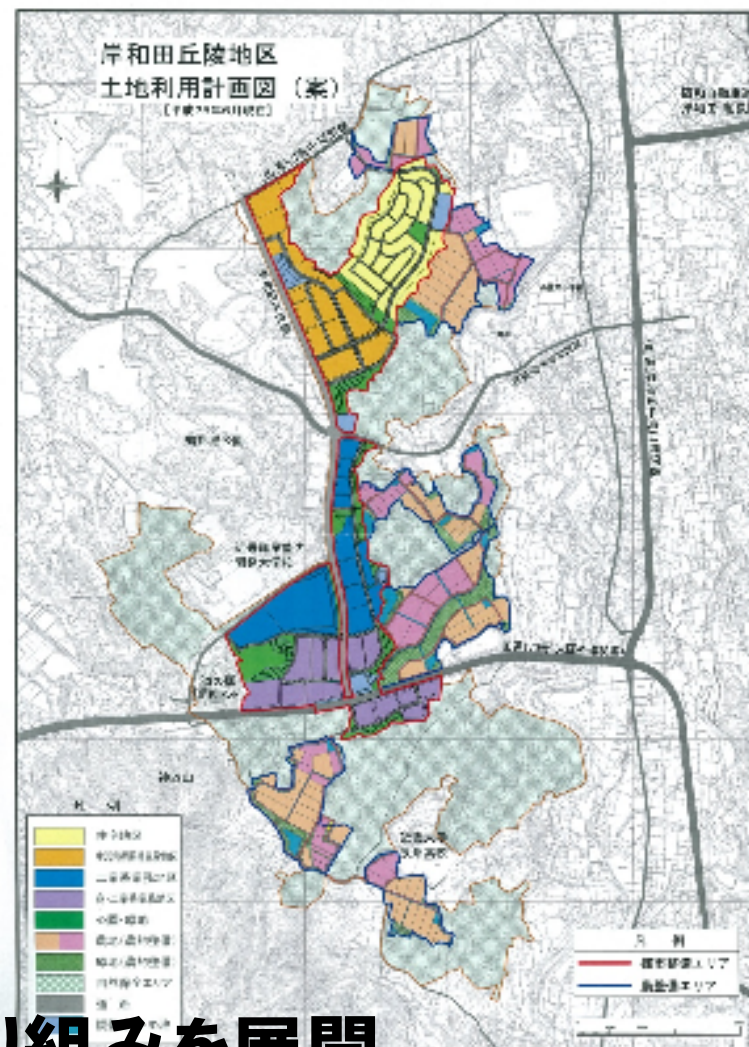
- 岸和田丘陵地区で計画中の「都市」、「農」、「自然」が融合したまちづくりのうち、「新たに取り組む先進的プロジェクト」の総称

岸和田丘陵地区の取組み



1. 「都市整備エリア」
土地区画整理事業(約45ha)
⇒26年度事業認可
2. 「農的整備エリア」(約35ha)
大阪府営土地改良事業
⇒25年度事業認可
3. 「自然活用エリア」
⇒里山再生など

これらの事業をベースに多様な取り組みを展開



岸和田 green village 構想



- **新たな時代を先導し全国に誇れるまちづくりに向けて、「暮らし」、「学び」、「働き」、「楽しむ」など、生活の全てのステージに、キラリと光る新たな仕組みを導入**

【キーワード】

○徹底した環境との調和

○地域や企業、子どもから高齢者まで、多様プレイヤーの活躍

○魅力あふれ、活力ある地域づくり



具体的取組み例

◎都市型クラインガルテン

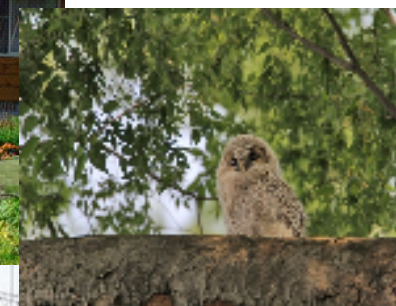
◎ふくろうの森づくり

◎スマートアグリの実践

◎自然エネルギーの導入

◎まちづくりルール作成

◎竹資源の有効活用



都市型クライנגルテン

畑のある暮らし



◎農と自然と都市が融合する地域の特色を活かす

◎日帰り型の「里山クライנגルテン」の整備

⇒景観・環境への配慮、高いサービス水準

⇒地元雇用にもつなげる

◎住宅メーカーとも連携(家庭菜園付き住宅の販売)

◎民間企業による運営を前提





スマートアグリプロジェクト

- ◎大阪府環境農林水産総合研究所など、研究機関との連携により、環境制御システムや病虫害防除など最先端農業技術を集積
- ◎木質バイオマスなどグリーンエネルギーを積極導入
- ◎JAファームや特例子会社(障害者雇用)と連携した生産体制の構築
- ◎企業コーディネータによる実需者とのマッチング





出前朝市

- ◎オンデマンド型の農産物直売
- ◎愛彩ランドのブランド力の活用
- ◎新規住民や高齢者などに対する会員制サービス
- ◎まずは、試しにやってみる



学校給食のオール岸和田ブランド化



- ◎岸和田ブランドのエコ農産物の導入
- ◎岸和田の竹を使ったバイオプラスチックの食器
- ◎調理は、木質バイオマスボイラ
- ◎残さは、堆肥として農地に還元





プラチナエイジ・プロジェクト

◎「高齢者が輝く」をコンセプトにした取組みの展開

◇アンチエイジング(低カリウム)野菜の産地化

◇生きがいコミュニティ農園の開設

◇フレキシブルな雇用の場(野菜のパック詰など)の提供

・**カリウム**は野菜、果物などに多く含まれ、人体に不可欠。
・約90%が尿から排出されるが、慢性腎臓病患者は腎機能低下が進むと体内のカリウムを十分に排出することが出来ない。



・カリウムの血中濃度が高くなり、不整脈により心不全を起こす可能性。



・治療法として主に厳しい食事療法。
・カリウム制限が必要な腎臓病患者は約1000万人いると報告。





農と自然との融合

◎自然の中で散策や環境ボランティアへの参加

など、様々な世代と交流できる機会の創出

◇アドプトフォレストなど活動の場の提供

◇様々な交流会の開催





次世代育成プロジェクト

◎食農学習講座の開催

→食育による担い手(作り手と消費者)づくり

◎「岸和田丘陵ファンクラブ」の設立

→地域を知り、地域を支える人づくり

→農と里山ボランティアの育成



竹資源活用プロジェクト

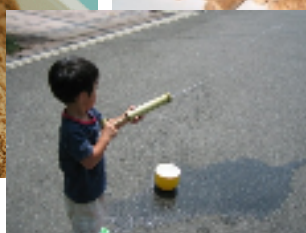


【竹パウダー】・【竹エネルギー】・【竹紙】

◎地域環境の再生や生物多様性の確保に向けて、竹資源の有効活用モデルを構築

◎民間企業さまとWin-Winの関係を構築し、地域の魅力向上にもつながる取組みを推進

⇒パートナー企業の募集、アドプトフォレストと連携



竹酢液製品



竹パウダー

● 竹パウダー製造設備の導入

岸和田市、大阪府、企業さまなどで協定を締結
※詳細な役割分担は今後検討

伐採・搬出



供給

製品化



竹パウダー

活用

販売

品質向上





竹エネルギー

- 給食センター・いよやかの郷などで活用

伐採・搬出



ペレット化・パウダー化



エネルギーの地産地消





きしわだ竹紙

● 竹紙による連携プロジェクト

岸和田市、大阪府、企業さまなどで協定を締結
※詳細な役割分担は今後検討

伐採・搬出



供給

製品化



販売

需要創出



利用企業の発掘
行政関係団体での利用
イベントでの活用など





企業さまとの連携にあたって

- 企業さまにメリットを感じていただけるよう、行政も最大限汗をかく
 - ◎企業ロゴの露出
 - ◎製品の需要拡大
 - ◎プレスへの発信
 - ◎行政の率先利用
 - ◎地域団体との連携
 - ◎支援制度の創設 など



更なる展開イメージ

- 大阪府全域への拡大
- シンボルプロジェクトへの参画
 - ・御堂筋Kappo、みどりと風の月間、
おおさか山の日、御堂筋イルミネーションなど